

アノード酸化により チタン表面に 光干渉芸術作品を制作する

担当教員：西本 昌史*、武藤 泉（*連絡先：masashi.nishimoto.b8@tohoku.ac.jp）

概要

金属のキャンバスに、絵の具を使わずに絵を描くにはどうすればよいでしょうか。本テーマでは、チタン板をキャンバスとして、アノード酸化処理によって発色させる技術を学びます。アノード酸化により形成される酸化皮膜は、光の干渉によって特定の色を呈するため、電解液の種類と電圧を調整することで、金属表面にさまざまな色をつけることが可能です。この発色の原理を理解するとともに、複雑な構図や繊細なグラデーションをどのように表現できるかを探求し、美しい芸術作品を制作することを目指します。



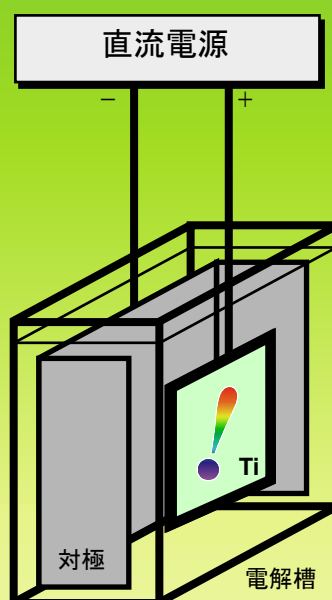
岩手山



マグカップ



万華鏡



水槽